

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公開番号】特開2007-289322(P2007-289322A)

【公開日】平成19年11月8日(2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2007-043

【出願番号】特願2006-119050(P2006-119050)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月24日(2009.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域を有した遊技盤と、  
前記遊技盤の前記遊技領域内に配置され、遊技媒体を受入可能な受入口と、  
前記受入口に受入れられた遊技媒体が通過可能とされ且つ遊技媒体を一つのみ通過可能な大きさとされた落下口、  
前記落下口の下方に配置され所定広さの収納空間、及び  
前記収納空間を介して前記落下口と連通し遊技媒体が通過可能な排出受入口  
を少なくとも有する役物支持ベースと、  
前記役物支持ベースの前記収納空間内に移動可能に収納支持され、該収容空間を複数に  
分割する隔壁部、  
前記収容空間のうち前記隔壁部により分割された一方の空間に配置され遊技媒体が流通  
可能な流通空間、  
前記流通空間が遊技者から視認可能となると前記落下口と前記流通空間とが連通可能な  
位置に配置されると共に前記落下口よりも大きさの大きい連通孔、及び  
前記流通空間が遊技者から視認可能となると前記排出受入口と前記流通空間とが連通可  
能な位置に配置されると共に該流通空間から遊技媒体を排出可能な排出口  
を少なくとも有する特別役物と、  
前記特別役物を、前記遊技領域に遊技媒体が打ち込まれることで変化する遊技状況に応  
じて、前記流通空間が遊技者から視認可能又は視認不能となるように移動させる特別役物  
移動手段と  
を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記特別役物は、

上下方向に延びる軸芯を中心とした円盤状に形成されるものであり、前記流通空間が遊  
技者から視認可能となる位置に移動すると、前記連通孔の前端部分と前記落下口とが略一  
致するように、前記連通孔が周方向に延びる長孔として形成された天板部、  
前記天板部の下方で略同軸芯上に対向配置される円盤状の底板部、及び  
前記天板部と前記底板部との間に配置され、所定位置に前記排出口が形成されるととも

に、前記収納空間を前記天板部と略直交する方向に分割する前記隔壁部

を備えた役物回転体本体と、

前記役物回転体本体の前記天板部の下側に配置され、前記長孔の前端部分から後端部分に向かうに従って高さが低くなるように傾斜し遊技媒体を前記隔壁部側へ誘導可能な誘導部材と

をさらに有し、

前記特別役物移動手段は、

前記軸心を中心として前記特別役物を回転移動させる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記特別役物は、

前記排出口として、互いに配置位置の異なる第一排出口及び第二排出口を有するとともに、

前記第一排出口又は前記第二排出口の何れかに遊技媒体を振分ける振分手段を、さらに有する

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。